



館長だより

山形県産業科学館

令和6年12月28日(土)

発行 館長 加藤 智一

血液型

年末らしいお話

今時の若い人達は、自分の血液型を知らない子が多いことに驚きました。かつては、子どもが生まれると、その子の血液型を早々に調べて教えてくれたものですが、今はそうではないらしい。免疫学の向上により赤ん坊の頃の診断結果は、母親の血液型の影響が強く残るとということが判ってきて、必要な時に調べる方が良いという風潮になっているらしい。実際に「大きくなってから調べてみたら違っていた」という話も聞いたことがあります。また、実際のところ、手術や輸血の際は、間違いを防止するため、結局は検査することになるので、それで良いではないかというのが今の考えらしい。それに、大人の事情で、子どもの血液型を知らない方が都合が良いという場合もあるでしょうしね!

ところで日本人ほど、血液型性格判断なるものを信じている国民はいないらしく、例えばA型というと、真面目、几帳面、神経質。B型は自己中心的、ワガママで思いやりがないとか。O型はおおらかで楽観的、負けず嫌いで情熱家。AB型は二重人格で変わりものも多く、合理主義者などと言われたりします。ところがこんな話があります。自分はずっとAB型だと思っていたのに、成人になって調べてみたらO型だったというケース。その方はずっと幼い頃から「自分がちょっと二重人格的なところがあり、変わって見られるのは血液型のせいだ」と思い込んでいたのに、O型だったとすると、「おおらかで楽観的で負けず嫌いの情熱家」ということになってしまい、「今まで自分が思い込んで、やってきた事とのつじつまが合わなくなってしまうではないか。」という事態に陥ったわけです。つまり、この方、血液型性格判断における、「いわゆるAB型」に寄せた人生を自分から進んで実践してきたことになるわけだ。つまり血液型で性格が決定づけられるわけではなく、思い込みなのです。本当は、どんな自分にもなれる。それが真実です。やる気と本気しだいです。



本日12月28日(土)は、当館御用納めでございます。今年は、1月1日の能登半島地震に始まり、10月には衆議院解散で与党過半数割れ。さらに、今年の気温について振り返れば、「異常な高温」。日本の平均気温は過去最高となる見通し。11月末時点で、平年よりもプラス1.64度高かったことが明らかになりました。こんな激動(激震)の日本列島でありましたが、来年は巳(蛇)年。蛇は脱皮を繰り返し成長していきます。このことから、再生の象徴でもありますし、知恵、繁栄、生命力、健康、不老長寿などの意味もあるそうですので、今年いろんな意味で振り回された人達も、来年はそれらの思いを全部、希望に変えて努力すれば、きっと良い事あると信じて、もうひと踏ん張りしてみようではありませんか。

さて、話は変わって、各地の水族館や動物園、美術館などではよく、「こどもの日」や「ハロウィン」「クリスマス」などにあわせて特別な企画イベントを実施したりするものです。例えば、アクアワールド茨城県大洗水族館では、「クリスマス」にあわせて、サンゴで作られた「海のクリスマスツリー」を水槽内に設置し、サンタクロースに扮したダイバーが、マンボウにエサやりしていましたし、国立西洋美術館では、キリスト教やクリスマスにちなんだ常設展の作品を数点取り上げ、ボランティアスタッフが解説したり、ボランティアおすすめの当館所蔵作品の中から、いいなと思った作品を選んで、缶バッジをプレゼントする、「推し de 缶バッジ!!」なんて企画もありました。どこの施設でも、何かしらのきっかけを利用して、来館者を楽しませたいと頑張っています。さて来年、山形県産業科学館ではどんな仕掛けを準備できるでしょうか。乞うご期待。

最後になりましたが、良いお年を!!

